MASPRO

屋外（内）用 ブースター （家庭用）

取扱説明書

DIGITAL デジタル放送対応

VU BOOSTER
増幅チャンネル
FM・VHF ch.1〜12・UHF ch.13〜62

VUB33GN

UHF BOOSTER
増幅チャンネル
UHF ch.13〜62

UB33GN

FM・VHFミキサー内蔵

F型端子 **33dB型**

UHF 自動利得調整
オートブースター

地上デジタル放送対応

CATVには使用できません。

MASter of PROduction 生産の覇者



VUB33GN
増幅部：屋外（内）用



VUB33GN
電源部（WP6B）：屋内用
（屋外では使用しないでください。）

VUB33GN

FM・VHF・UHF帯域を増幅します。

UB33GN

UHF帯域を増幅します。FM・VHF帯域は通過します。

優れた性能と機能

UHF自動利得調整機能付（特許出願中）

マスプロ独自のUHF自動利得調整回路により，地上デジタル放送移行期で，送信出力レベルが段階的に上がったときでも，ブースターの利得再調整が不要です。

余裕のある高出力

UHF帯域は，アナログ7波+デジタル9波で103dBμ※の高い出力レベルが得られますから，放送波の多い地域で使用しても，障害のないきれいな画像が見られます。また，地上デジタル放送移行期のUHF多チャンネル受信にも対応できます。

※デジタル波の信号レベルが，アナログ波より10dB低い場合。

優れたシールド性能（特許出願中）

増幅部，電源部とも高周波回路を金属ケースでシールドし，入・出力端子にF型コネクターを使用していますから，外来電波による妨害を防ぐことができます。

FM・VHF停止スイッチ（VUB33GN）

FM・VHF停止スイッチによって，FM・VHFの作動を停止できますから，地上デジタル放送だけを受信するときや，地上アナログ放送が終了したときに，消費電力を抑えることができます。

異常お知らせ機能（特許出願中）

増幅部と電源部の間でショートしたり，断線したりした場合，電源部作動表示灯の色でお知らせします。

スマートに設置できる電源部（特許出願中）

電源部に収納されている縦置き用スタンドを使用して，テレビラックの空きスペースにも，すっきりと設置できます。

電源保護回路

増幅部と電源部の間でショートしても，電源保護回路によって，電源部を保護します。

JEITA DH　DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は，（社）電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ，UHFアンテナ，受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

DIGITAL デジタル放送対応　各種デジタル放送を，より高画質で見るために，妨害電波の影響を受けにくい，高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している，信頼のマークです。

だ・か・ら eco　無鉛はんだの採用，カドミウム・六価クロム・水銀・ポリ臭化ビフェニール・ポリ臭化ジフェニルエーテルの不使用により，RoHS 指令に対応しています。

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

安全上のご注意

ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「安全上のご注意」には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	△記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
🛇	⃠記号は，禁止の行為を示しています。 図の中や近くに禁止内容（左図の場合，分解禁止）が描かれています。
●	●記号は，行為を強制したり，指示したりする内容を示しています。 図の中に指示内容（左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●ACコードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近付けたりしないでください。ACコードが破損して，火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだ場合（芯線の露出，断線など），販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●増幅部および電源部のケースを取外したり，改造したりしないでください。また，増幅部および電源部の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご依頼ください。

●増幅部および電源部の内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部を，風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部は，風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり，火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
- 押入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押込む。
- テーブルクロスを掛けたり，じゅうたんや布団の上に置いたりする。
- 布や布団でおおったり，包んだりする。

●電源部に水をかけたり，濡らしたりしないようにしてください。電源部の上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合，火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が，電源部の上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合，火災・感電の原因となります。

●雷が鳴出したら，増幅部・電源部およびケーブル・ACプラグ・ACコードには触れないでください。感電の原因となります。

●増幅部と電源部は，必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと組合わせて使用しないでください。火災の原因となります。

⚠警告

●万一，増幅部および電源部の内部に，異物や水が入った場合，ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災･感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一，増幅部および電源部を落としたり，ケースを破損したりした場合，ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●万一，煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き，煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また，テレビの画像が映らない，音声が出ないなどの症状があるときも，テレビと共に電源部のACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。

⚠注意

●増幅部および電源部は，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器の近くなど，油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●増幅部および電源部は，不安定な場所に置いたり，取付けたりしないでください。落下して，けがの原因となることがあります。壁に設置する場合，接着剤やテープなどで取付けないで，壁面取付用木ネジでしっかりと取付けてください。

●増幅部および電源部は，温室やサンルームなどの，高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ACプラグをACコンセントから抜くときは，ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき，火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。

●濡れた手で，ACプラグを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源部を移動させる場合，必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと，火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れは，安全のため，必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

●旅行などで長期間，使用しないときは，安全のため，必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●ACプラグは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり，火災の原因となることがあります。また，ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

●ACコードは，結んだり，束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して，火災の原因となることがあります。

●雷の発生が予想されるときは，前もって，ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって，火災の原因となることがあります。

●増幅部を取付けるときは，落下防止のため，増幅部や工具を固定物にヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。

●台風や大雪などによって，増幅部のケース･取付金具･マストなどに異常があったり，蝶ナットなどがゆるんだりしていないか，必ず点検してください。また，破損・変形した場合，新しいものと交換してください。そのままにしておくと，ケースや取付金具などの部品が，破損，落下して，けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。

●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをブースターへ接続するときは，テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いてください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると，使用しているテレビによっては，感電の原因となることがあります。

●テレビ受信工事には技術と経験が必要ですから販売店にご相談ください。

各部の名称と機能

増幅部

ご注意

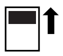
- 利得調整は，調整用ドライバーで操作してください。無理に回すと，こわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると，こわれることがあります。

FMカットスイッチ
（**UB33GN**にはありません）

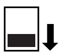
- FM電波が強く，受信障害が出る場合，「**FMカット**」にします。
- 出荷時は「**FM増幅**」になっています。

FM電波が弱い地域の場合

FM増幅



FM電波が強い地域の場合



FMカット

フタの開閉について

- フタを開けるときは，フタ固定ビスをゆるめてから，手前に引上げてください。
- フタを閉めたあとは，必ず，手でフタ固定ビスをしっかりと締付けてください。

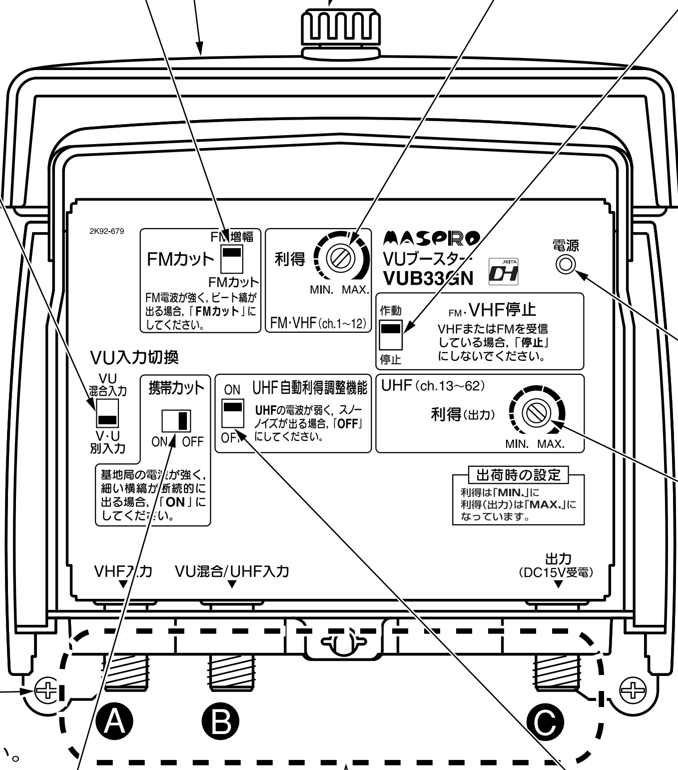
利得調整
（**UB33GN**にはありません）

FM・VHF（ch.1〜12）

- 利得を0〜㊀10dB連続して調整できます。
- レベルチェッカーなどを使用して，定格出力レベルを超えないように調整してください。
- 出荷時は「**MIN.**」になっています。

フタ固定ビス

フタ



FM・VHF停止スイッチ
（**UB33GN**にはありません）

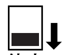
- FM・VHFを受信しない場合，「**停止**」にします。
  （どちらかを受信する場合，「停止」にしないでください。）
- 出荷時は「**作動**」になっています。

FM・VHFを受信する場合

作動



FM・VHFを受信しない場合

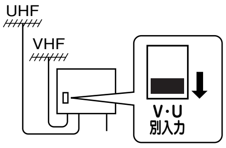


停止

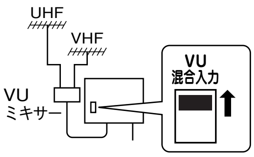
VU入力切換スイッチ

- VHF・UHFの別入力，混合入力を切換えます。
- 出荷時は「**V・U別入力**」になっています。

V・U別入力の場合



VU混合入力の場合



電源（増幅部作動表示灯）

増幅部の作動時に「**緑**」に点灯します。

利得（出力）調整

UHF（ch.13〜62）

- 利得（出力）を0〜㊀10dB連続して調整できます。
- レベルチェッカーなどを使用して，テレビまたはデジタルチューナーの入力レベル範囲を超えないように調整してください。
- 出荷時は「**MAX.**」になっています。

壁面取付用木ネジ

（左右各1本）
p.6「**取付方法**」をご覧ください。

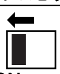
携帯カットスイッチ

- 携帯電話の基地局が近く，携帯電話の電波によって，受信障害が出る場合，「**ON**」にします。
- 出荷時は「**OFF**」になっています。



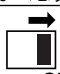
携帯電話の電波で受信障害を受けている画面

携帯電話の基地局が近くにある地域の場合



ON

携帯電話の基地局が近くにない地域の場合



OFF

A VHF入力端子

- VHFアンテナからのケーブルを接続します。
- VU混合入力のときは付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

B VU混合入力端子またはUHF入力端子

VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します。

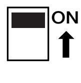
C 出力端子（DC15V受電端子）

電源部の入力端子Eからのケーブルを接続します。

UHF自動利得調整機能

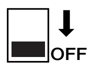
- UHFの電波が強い場合，定格出力レベルを超えないように入力レベルを自動調整します
- 出荷時は「**ON**」になっています。

UHFの電波が強い地域の場合



ON

UHFの電波が弱い地域の場合

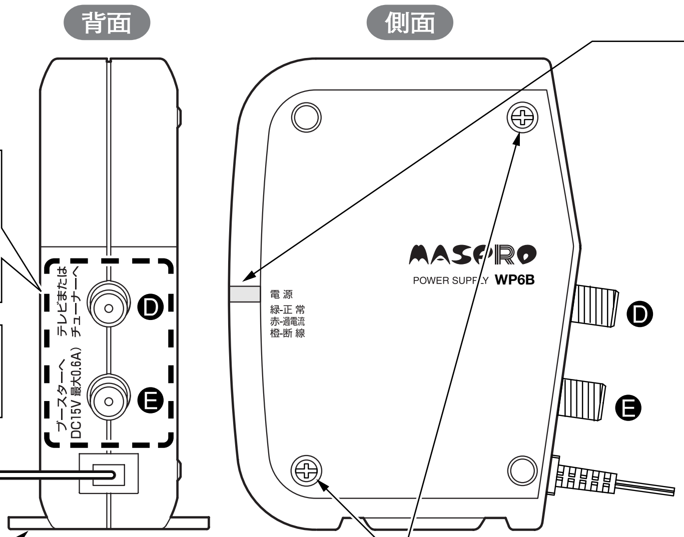


OFF

ご注意

- UHFの電波が弱く，画面にスノーノイズが出る場合，「**OFF**」にしてください。
- p.8「**きれいなテレビが見られないときは**」をご覧ください。

電源部



D出力端子
（テレビまたはチューナーへ）
E入力端子（ブースターへ）
増幅部の出力端子Cからのケーブルを接続します。

ACプラグ（AC100V）は，取付工事がすべて終了してから，ACコンセントに差込んでください。

ACコード
（約1.6m）

縦置き用スタンド
p.6「**取付方法**」をご覧ください。

壁面取付用木ネジ
p.6「**取付方法**」をご覧ください。

電源（電源部作動）表示灯

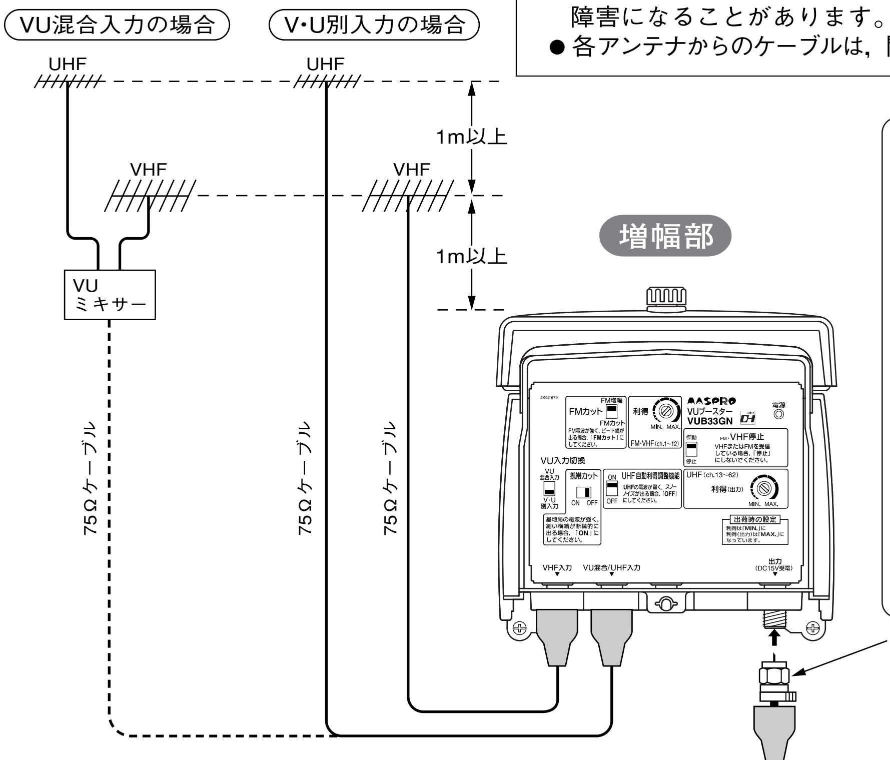
●ACプラグをACコンセントに差込んだときに，電源部の作動状態を表示灯の色でお知らせします。
（異常お知らせ機能）

表示灯	作動状態
緑	正常
赤（過電流）	異常
橙（断線）	異常（テレビは見られません）
無灯（ショート）	異常（テレビは見られません）

●p.9「**異常お知らせ機能について**」をご覧ください。

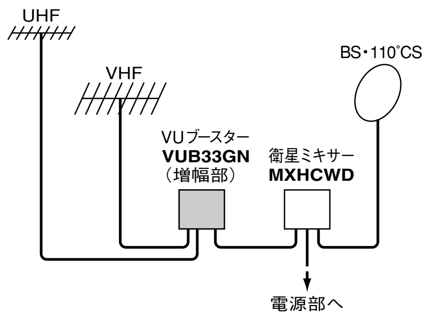
接続例 （増幅部の出力を4分配する場合）

ご注意
- VHFアンテナ，UHFアンテナ，増幅部は，1m以上離してください。アンテナが接近しすぎると，アンテナの性能が劣化します。また，アンテナと増幅部が接近しすぎると，ブースターが発振して，受信障害になることがあります。
- 各アンテナからのケーブルは，間違えないように正しく接続してください。



BS・110°CS放送もご覧になるときは

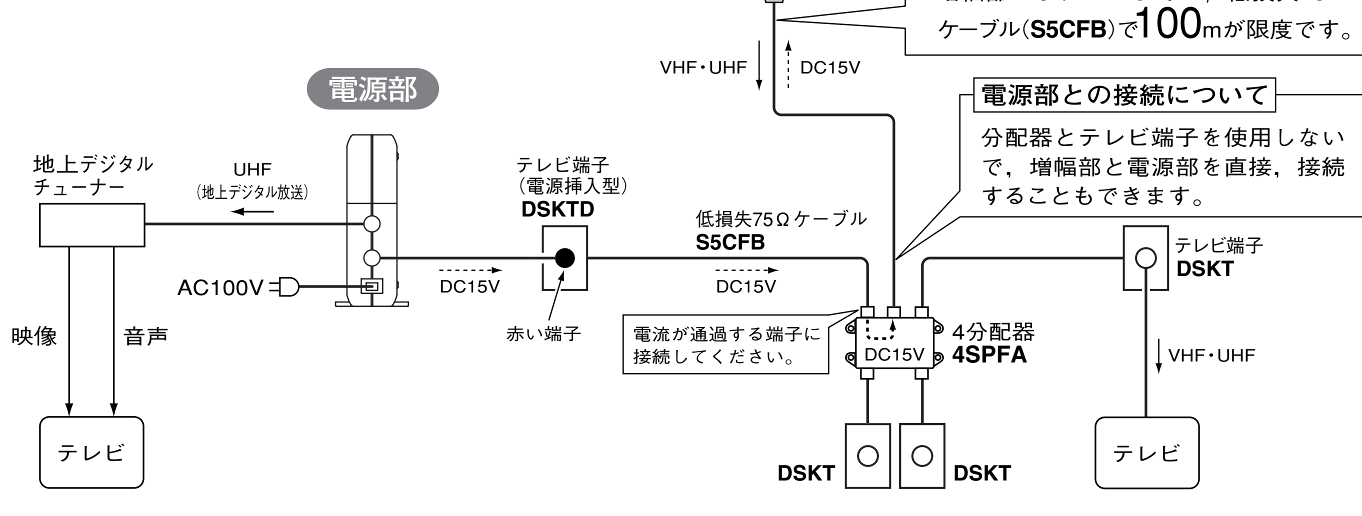
別売の衛星ミキサー**MXHCWD**を使用すれば，電源部をそのまま利用して，BS・110°CS放送もご覧になれます。
（BS・110°CS放送を受信できるテレビまたはチューナーが必要です。）



F型コネクター（付属品）
●締付トルク 2N･m（21kgf･cm）

ご注意
増幅部からテレビまでは，低損失75Ωケーブル（**S5CFB**）で100mが限度です。

電源部との接続について
分配器とテレビ端子を使用しないで，増幅部と電源部を直接，接続することもできます。



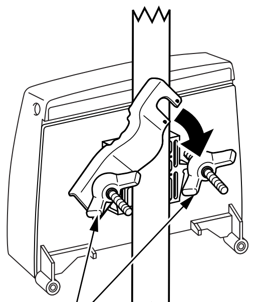
取付方法

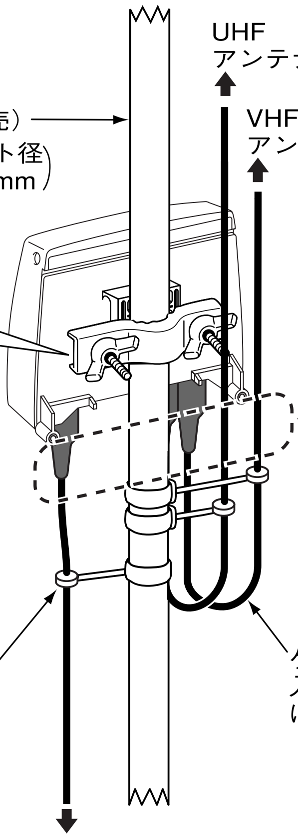
増幅部

マスト

マストに図のように
取付けてください。

マストへの取付け





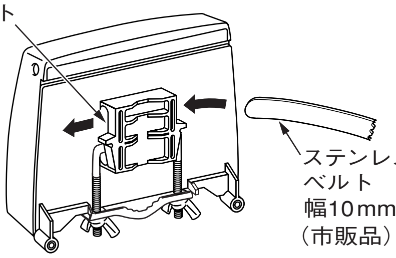
ご注意

入力と出力のケーブルは，束ねたり，増幅部に巻付けたりしないでください。

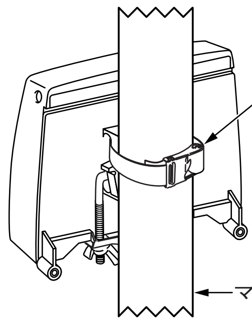
適合マスト径(22～48.6mm)以外のときは

市販のステンレスベルトを使用して取付けられます。

① 市販のステンレスベルト(幅10mm)を増幅部のステンレスベルト取付孔に通します。

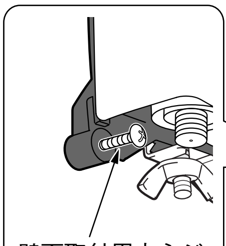


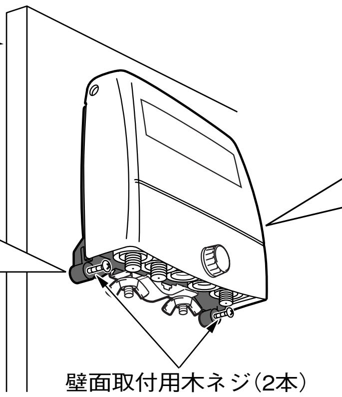
② マストに取付けて，ステンレスベルトをしっかりと締付けます。



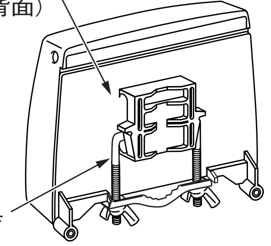
板壁面

ドライバーで，増幅部に収納されている壁面取付用木ネジを板壁面にねじ込みます。





マスト取付金具を取付けたまま，板壁面に取付けることができます。

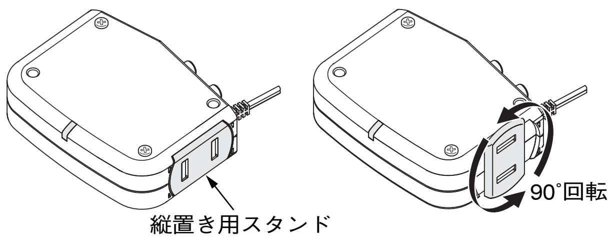


電源部

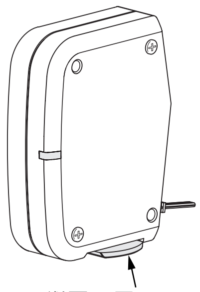
据置き

●縦置き　縦置き用スタンドを使用します。

①縦置き用スタンドを「カチッ」とロックするまで90°回転します。

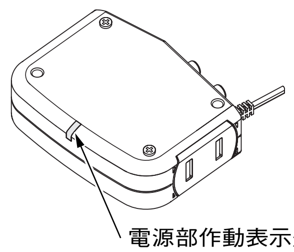


②縦置きにします。



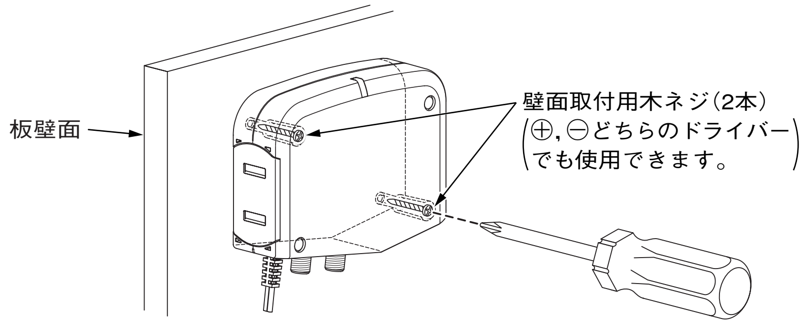
●横置き

縦置き用スタンドを使用しないで横置きにできます。



板壁面

ドライバーで，電源部に収納されている壁面取付用木ネジを板壁面にねじ込みます。



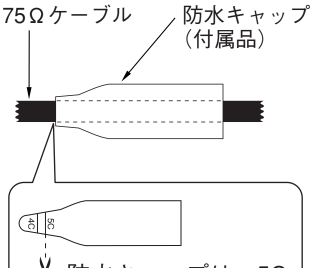
ご注意

- ●電源部をAMラジオの近くに置くと，ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ，ラジオと電源部を離してお使いください。
- ●電源部は，温度が上昇しないように，風通しのよい場所に設置してください。また，長期間，ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

F型コネクターの取付方法

●接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。
●ケーブルは5Cをお使いください。

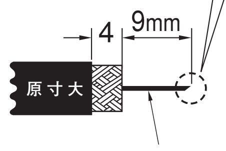
①増幅部に接続するケーブルは，付属の防水キャップに通してください。



防水キャップは，5C側のラインにそって切ってください。

②ケーブルの加工

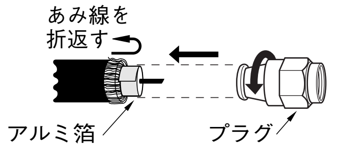
芯線の先を斜めに切断してください。



芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために，必ず取除いてください。

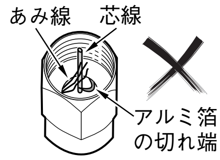
③プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグの内側にアルミ箔が入るように，アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら，ていねいに押込んでください。



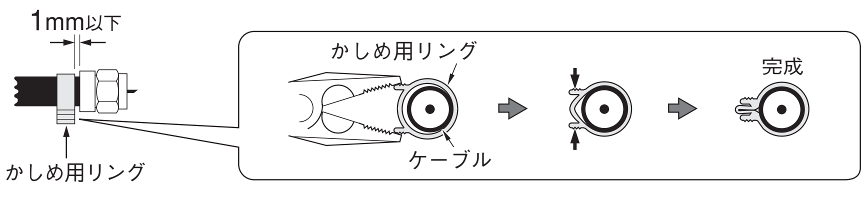
あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線（銅編組）やアルミ箔の切れ端は，取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり，テレビを見られなくなります。



④かしめ用リングをペンチで圧着

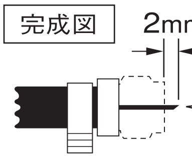
プラグが抜けないように，プラグの根元でしっかりと圧着してください。



芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

完成図



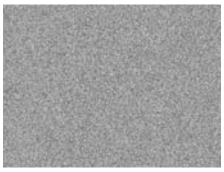
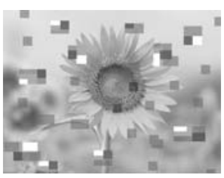
芯線は，まっすぐにしてください。

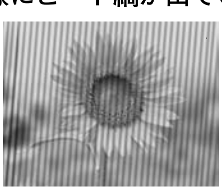
芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。



きれいなテレビが見られないときは

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="3">画像が出ない


UHF（地上デジタル放送）

VHF・UHF（地上アナログ放送）
●デジタル放送で画面に表示されるメッセージは，一例です。
●p.9「異常お知らせ機能について」もご覧ください。</td><td>VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。</td><td>●VU入力切換スイッチが，正しく操作してあるか確認してください。</td></tr>
<tr><td>FM・VHF停止スイッチが「停止」になっている。（VHFのとき）</td><td>●FM・VHF停止スイッチを「作動」にしてください。（VUB33GN）</td></tr>
<tr><td>電源が供給されていない。</td><td>●増幅部・電源部の作動表示灯は「緑」に点灯していますか。
（増幅部の出力端子Ⓒまたは電源部の入力端子Ⓔがショートしていると電源保護回路が作動して，作動表示灯が消えます。ACプラグをACコンセントから抜いて，原因を取除き，再度，ACコンセントに差込んでください。）
●増幅部の出力端子Ⓒに，DC15Vが供給されているか確認してください。
（出力端子Ⓒに接続するケーブルのF型コネクターにテスターを接続して確認できます。）
●F型コネクターの芯線が短かったり，芯線にあみ線（銅編組）やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。
●各ケーブルが，断線またはショートしていないか確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像にモザイク状のノイズが出ている

UHF（地上デジタル放送）
デジタル放送では，入力レベルが低くても高くても症状は同じで，モザイク状のノイズが出たり，映らなくなったりします。</td><td>UHFアンテナからの入力レベルが低い。</td><td>●UHF自動利得調整機能を「OFF」にしてください。</td></tr>
<tr><td>UHFアンテナからの入力レベルが高い。</td><td>●UHFの入力レベルが76dBμを超える場合，UHF入力端子に，別売のアッテネーターATT1.5，3，6，10，15，20を接続して入力レベルを下げてください。
●テレビまたはデジタルチューナーのUHFの入力レベルが高い場合，UHFの利得（出力）調整を㊧へゆっくり回してください。
ご注意
UHF（地上アナログ放送）の入力レベルは，必ず実用入力レベルを超えないように設定してください。実用入力レベルを超えて使用すると，UHF（地上デジタル放送）の画面にモザイク状のノイズが出ることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像にスノー（ザラザラ）ノイズが出ている

VHF・UHF（地上アナログ放送）</td><td>VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。</td><td>●VU入力切換スイッチが，正しく操作してあるか確認してください。</td></tr>
<tr><td>VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが低い。</td><td>●VHFに症状が出る場合，FM・VHFの利得調整を㊨へゆっくり回してください。（VUB33GN）
●UHFに症状が出る場合，UHF自動利得調整機能を「OFF」にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">画像にビート縞が出ている

VHF・UHF（地上アナログ放送）
画像にワイパー現象が出ている

VHF・UHF（地上アナログ放送）</td><td>FM電波が強い。</td><td>●ch.1～3の画面に障害が出るときは，FMカットスイッチを「FMカット」にしてください。（VUB33GN）</td></tr>
<tr><td>VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが高い。</td><td>●VHFの入力レベルが69～79dBμでFM・VHFの利得調整が「MIN.」でない場合，利得調整を㊧へゆっくり回してください。（VUB33GN）
●VHFの入力レベルが79dBμを超える場合，VHF入力端子に，別売のアッテネーターATT1.5，3，6，10，15，20を接続して入力レベルを下げてください。（VUB33GN）
●UHFの入力レベルが76dBμを超える場合，UHF入力端子に，別売のアッテネーターATT1.5，3，6，10，15，20を接続して入力レベルを下げてください。
●テレビまたはデジタルチューナーのUHFの入力レベルが高い場合，UHFの利得（出力）調整を㊧へゆっくり回してください。</td></tr>
<tr><td>他の電波と混信している。（ビート縞のとき）</td><td>●画質が最も良くなるように，VHFまたはUHFアンテナの方向を調整してください。</td></tr>
</table>

異常お知らせ機能について

●ACプラグをACコンセントに差込んだときに，正常に作動しているか，電源部作動表示灯の色で確認できます。

●電源部作動表示灯が「緑」以外のときは，ACプラグをACコンセントから抜いて，原因を取除き，再度，ACコンセントに差込んでください。



電源部作動表示灯	原因	処置
緑 （正常）	——	——
赤 （過電流）	出力電流が規格値（0.6A）を超えている。	増幅部，BS・110°CSアンテナ以外に，電源が供給される機器が接続されて，過電流になっていないか確認してください。
橙 （断線）	電源が供給されていない。	●増幅部の出力端子と電源部の入力端子が接続されていない。 ●F型コネクターの芯線が短くないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。
無灯 （ショート）	電源が供給されていない。	●F型コネクターの芯線にあみ線（銅編組）やアルミ箔が触れていないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターは，正しく取付けないと，ブースターが発振して，ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

● 入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。

● 入力と出力のケーブルは，束ねたり，増幅部に巻付けたりしないでください。

● マストに取付ける場合，VHF・UHFアンテナと増幅部との間隔を1m以上離してください。

デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても，デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらなかったり，下がったりすることがありますが，ブースターの不具合ではありません。

「アンテナレベル」や「受信レベル」は，アンテナの方向調整を目的とした機能で，信号品質（CN比）の換算値を表しており，電波の強さを表すものではありません。

規格表 Specifications

VUB33GN 増幅部

MASPRO

項目 Items	規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range	76～108MHz （FM・VHF ch.1～3）	170～222MHz （VHF ch.4～12）	470～770MHz （UHF ch.13～62）
利得 Gain	25～31dB		26～35dB
利得偏差（P/V） Gain Response Flatness	3dB以内		5dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	0～⊖10dB以上（連続可変）		―――
利得（出力）調整範囲 Gain Control Range	―――		0～⊖10dB以上（連続可変）
雑音指数 Noise Figure	3.5dB以下	4dB以下	3dB以下（6dB以下※1）
実用入力レベル Operating Input Level	35.5（がまん限※2）～ 69dBμ（79dBμ※3）	36（がまん限※2）～ 69dBμ（79dBμ※3）	35（がまん限※2）～76dBμ [38（がまん限※2）～86dBμ※1] ※4
定格出力レベル Rated Output Level	100dBμ（7波）		111dBμ※4 103dBμ※5
混変調／相互変調 Cross Modulation / Intermodulation	⊖46dB以下／⊖53dB以下		⊖46dB以下※4／⊖68dB以下※5
VSWR	3以下		
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω（F型コネクター）		
電源 Power Requirements	DC15V　0.12A（FM・VHF停止スイッチ「停止」のとき：0.1A）		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃		
外観寸法 Dimensions	135（H）×148（W）×60（D）mm		
質量（重量） Weight	約430g		

※1 UHF自動利得調整機能を「ON」にしたときの値です。
※2 実用入力レベルの最小値（がまん限）は，地上アナログ放送受信で実用になる限界です。
（スノーノイズを完全に除去できません）
※3 利得調整を「MIN.」（利得調整を㊧へいっぱいに回した状態）にしたときの，最大の実用入力レベルです。
※4 アナログ2波の値です。
※5 アナログ7波+デジタル9波の値です。（デジタル波の信号レベルが，アナログ波より10dB低い場合）

電源部（WP6B）

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V　50・60Hz
消費電力 Power Consumption	4.1W
出力電圧（電流） Output Voltage / Current	DC15V（最大 0.6A）
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω（F型コネクター）
挿入損失 Insertion Loss	2　dB以下（　76～1336MHz） 2.5dB以下（1336～2655MHz）
使用温度範囲 Temperature Range	0～⊕40℃
外観寸法 Dimensions	120（H）×36（W）※×100（D）mm
質量（重量） Weight	約250g

※ 縦置き用スタンド幅 51mm

付属品

F型コネクター（5Cケーブル用）………… 5個
防水キャップ（大）………………………… 3個
防水キャップ（小，VHF入力端子用）……… 1個

UB33GN 増幅部

MASPRO

項目 Items	規格	
伝送周波数帯域 Frequency Range	76～222MHz （FM・VHF ch.1～12）	470～770MHz （UHF ch.13～62）
利得 Gain	―――	26～35dB
通過帯域損失 Insertion Loss	1.5dB以下	―――
利得偏差（P/V） Gain Response Flatness	―――	5dB以内
利得（出力）調整範囲 Gain Control Range	―――	0～⊖10dB以上（連続可変）
雑音指数 Noise Figure	―――	3dB以下（6dB以下※1）
実用入力レベル Operating Input Level	―――	35（がまん限※2）～76dBμ [38（がまん限※2）～86dBμ※1] ※3
定格出力レベル Rated Output Level	―――	111dBμ※3 103dBμ※4
混変調／相互変調 Cross Modulation / Intermodulation	―――	⊖46dB以下※3／⊖68dB以下※4
VSWR	3以下	
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω（F型コネクター）	
電源 Power Requirements	DC15V　0.1 A	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃	
外観寸法 Dimensions	135（H）×148（W）×60（D）mm	
質量（重量） Weight	約430g	

※1 UHF自動利得調整機能を「ON」にしたときの値です。
※2 実用入力レベルの最小値（がまん限）は，地上アナログ放送受信で実用になる限界です。
（スノーノイズを完全に除去できません）
※3 アナログ2波の値です。
※4 アナログ7波+デジタル9波の値です。（デジタル波の信号レベルが，アナログ波より10dB低い場合）

電源部（WP6B）

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V　50・60Hz
消費電力 Power Consumption	3.6W
出力電圧（電流） Output Voltage / Current	DC15V（最大 0.6A）
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω（F型コネクター）
挿入損失 Insertion Loss	2　dB以下（　76～1336MHz） 2.5dB以下（1336～2655MHz）
使用温度範囲 Temperature Range	0～⊕40℃
外観寸法 Dimensions	120（H）×36（W）※×100（D）mm
質量（重量） Weight	約250g

※ 縦置き用スタンド幅 51mm

付属品

F型コネクター（5Cケーブル用）………… 5個
防水キャップ（大）………………………… 3個
防水キャップ（小，VHF入力端子用）……… 1個

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
保証します。

特　　許	第2572981号
登録意匠	第 859595号

MASter of PROduction
生産の覇者

2K56-110

製品向上のため　仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
技術相談　TEL名古屋（052）805-3366
受付時間　9～12時，13～17時
（土・日・祝日，当社休業日を除く）
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp
技術相談以外は，お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

福　岡（支）（092）551-1711
九　州（シ）（092）551-1711
沖　縄　（098）854-2768
鹿児島　（099）812-1200
宮　崎　（0985）25-3877
熊　本　（096）381-7626
長　崎　（095）864-6001
北九州　（093）941-4026

広　島（支）（082）230-2351
中国四国（シ）（082）230-2359
下　関　（083）255-1130
松　江　（0852）21-5341

岡　山　（086）252-5800
松　山　（089）973-5656
高　知　（088）882-0991
高　松　（087）865-3666

大　阪（支）（06）6635-2222
近　畿（シ）（06）6632-1144
姫　路　（079）234-6669
神　戸　（078）231-6111
京　都　（075）646-3800

名古屋（支）（052）802-2233
東海北陸（シ）（052）802-2233
津　（059）234-0261
岐　阜　（058）275-0805

豊　橋　（0532）33-1500
静　岡　（054）283-2220
松　本　（0263）57-4625
福　井　（0776）23-8153
金　沢　（076）249-5301

東　京（支）（03）3409-5505
関　東（シ）（03）3499-5632
新　潟　（025）287-3155
横　浜　（045）784-1422
青　戸　（03）3695-1811
八王子　（042）637-1699
千　葉　（043）232-5335
さいたま　（048）663-8000

前　橋　（027）263-3767
水　戸　（029）248-3870
宇都宮　（028）636-1210

仙　台（支）（022）786-5060
東北北海道（シ）（022）786-5064
郡　山　（024）952-0095
盛　岡　（019）641-1500
秋　田　（018）862-7523
青　森　（017）742-4227
札　幌　（011）782-0711
釧　路　（0154）23-8466
旭　川　（0166）25-3111

（シ）：システム営業グループ

KG(N)・89-5110-2L

SEP., 2008